

# 乗雲

寺報  
第99号

H29.12.1 発行

編集人

〒959-2646 新潟県  
胎内市西栄町 2-8  
TEL0254-43-2419  
FAX0254-43-4560  
広厳寺  
住職 神田英俊

メール  
otera@kogonji.jp

「うれしくも釈迦の御法に

あふい草 かけてもほかの道は

踏まめや 踏まめや」

同行御詠歌(道交)



十一月三日(文化の日)正午より本堂に於いて、神田家(当寺副住職・神田孝純)、小野家(長女・小野加寿代)の仏前結婚式がとり行われました。当日は二人の門出をお祝いするような秋晴れとなり、ご親戚、ご近所、ご縁のある方々が沢山お祝いに駆けつけてくれました。披露宴では広厳寺寄席のご縁で、三遊亭鳳楽師匠が司会を務めてくださり、式師東龍寺渡邊宣昭老師、本寺耕雲寺菊地光

彦老師、檀家総代榎本善一様、小野家代表として胎内市市議会議員渡辺秀敏様からお祝辞を頂戴し、曹洞宗宗議会議員法蔵寺住職藤間良信老師のご発声で乾杯、賑やかな祝宴となりました。

曹洞宗梅花流詠讃歌の中に、表題の「道交」という御詠歌があります。

なんと嬉しいことでしょう。私たちはお釈迦様のみ教えに出会うことができませんでした。これから決して仏道からはずれずれることはありません」

道元禅師の「傘松道詠」の仏教二首の内です。新郎の梅花の仲間たちが詠ってくれました。修証義の中には、大身得ること難し、仏法値うこと希なり」この世の中にはいろんな生きものがあるが、その中で私たちは人間として生まれ、そして、有難くも仏法の尊いご縁を頂きました。今、門出を迎えた二人、ご参加いただいた皆様が、

「ほかの道は踏まめや」お互いに仏法に会う喜びを感じることができた結婚式でした。

式師東龍寺老師より孝純にと絡子を賜りました。裏書きには、

「正法眼蔵袈裟功德の巻」より、

道の芽生えの増長することは春の苗の如く、菩提の妙果は秋の実にたり」と揮毫されました。「お袈裟

によつて道(仏様のお徳)が芽生えてきて徐々に増長する。それは春の苗の植え付けをするとしばらくも休みもなく夜となく

昼となく伸びる、秋になればちやんと実を結ぶ。袈裟を身に着

けて修行に励むと自然に福徳がそなわってくる」とご教示がありました。新婦加寿代さんも九月に大本山永平寺にて福山諦法

禅師様から直々に、安名(仏の名)と絡子が授与されました。

いよいよ二人の修行が始まります。道芽増長」

この感激を胸にしっかりと仏の道を生きて行き

ましよう。

道芽増長  
如春苗  
菩提妙果  
類秋実

平成二十九龍會「道秋  
華燭盛典之辰  
全授孝純宗師  
式師東龍寺 宮脇 敬書

## 平成三十年度年回表

「回忌」 「没年」

一周忌	平成二十九年
三回忌	平成二十八年
七回忌	平成二十四年
十三回忌	平成十八年
十七回忌	平成十四年
二十三回忌	平成八年
二十七回忌	平成四年
三十三回忌	昭和六十一年
五十回忌	昭和四十四年
百回忌	大正八年

▼来年の年回忌表です。正当の各家には十一月中旬に通知いたしますのでご確認ください。

▼日曜・祝日のご法事の申し込みはお早めにお問い合わせいたします。

▼「周」は「めぐる」ことを意味する言葉で、亡くなってからちようど一めぐりした翌年のその日を一周忌と呼ぶ。回忌とは亡くなられた日を最初の忌日と考えて、三回目の忌日が「三回忌」となる。以降は丸六年目が七回忌、丸十二年目が十三回忌となる。